

## 新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	院内非専門医における肝炎ウイルス陽性者の実態調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：非専門医において肝炎ウイルス検査を行った中でのHBs抗原陽性者、HCV抗体陽性者</p> <p>対象期間：2016年1月1日～2023年12月31日</p>
③概要	<p>ウイルス性肝炎は経口薬のみでコントロール可能となった疾患です。しかし、進行するまでは症状がなく、自分がウイルス性肝炎の検査をしているかどうかを自覚している人は少ないのが現状です。発見契機としては、自治体や職場での検診の他に、医療機関における検査で発見される機会もあります。しかし、消化器内科以外で検査を行い、ウイルス性肝炎が陽性であるにも関わらずに当科へ紹介されない例も散見されます。もちろん、高齢の患者さんや、がん患者さんの場合は、ウイルス性肝炎の治療が難しいことが多いのですが、紹介されない理由が不明の場合もあります。</p>
④申請番号	2021-0299
⑤研究の目的・意義	<p>当院の消化器内科以外でウイルス性肝炎検査を行い、その結果HBs抗原陽性もしくはHCV抗体陽性の患者さんの臨床情報を解析し、紹介されにくい原因を発見することを目標とします。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>電子カルテに保存されている患者さんの病歴、血液検査結果、画像検査結果を利用させていただきます。</p> <p>使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。</p> <p>研究の成果は、学会や専門誌などの発表、肝炎等克服政策研究事業に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、死亡情報、治療内容）、血液検査結果、画像検査、受診状況、内服薬、肝臓有無
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター 荒生 祥尚
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター 寺井 崇二
⑪お問い合わせ先	<p>所属：新潟大学医歯学総合病院 肝疾患相談センター</p> <p>氏名：荒生 祥尚</p> <p>Tel：025-227-2207</p> <p>E-mail：y-arao@med.niigata-u.ac.jp</p>